

# GT-ROLLER T1

## 取扱説明書

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください

2020.07.17 版



## 目次

はじめに	2
安全にお使いいただくために	2
GT-Roller T1 について	3
同梱品	3
各部名称	4
組み立て方法	4
各種調整方法	8
フロントローラーの位置調整	
ステップシールについて	
負荷の調整	
負荷特性（参考）	10
メンテナンス・保管について	10
製品使用後	
ベルトの交換	
保管方法	
製品仕様	10

## はじめに

このたびは、GROWTAC の製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。  
「GT-Roller T1」は、「安全・静か・幅広いトレーニングが可能」と、従来の 3 本ローラーの欠点を解消しつつ、高剛性・低振動設計による「超上質な乗り心地の良さ」を実現した 3 本ローラーです。

安全に正しくご使用いただくため、お使いになる前に本取扱説明書をよくお読みください。

本取扱説明書の内容並びに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

最新の情報は弊社ホームページ (www.growtac.com) をご確認ください。

本製品によって、お客様のサイクルライフがより一層豊かになることを心から願っております。

本製品を使用したことにより生じたお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきまして、株式会社グロータックは一切その責任を負いかねます。

## 安全にご使用いただくために



本製品は誤ったご使用をされますと、製品の故障やけがの原因となる場合があります。本取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。  
また、本取扱説明書はいつでも確認ができる場所に保管してください。

- a. 異常を感じた場合は、すぐに使用を中止してください。  
そのまま使用すると、製品の破損や事故の原因となります。
- b. 製品を破損させた場合には、すぐに使用を中止してください。  
そのまま使用すると、転倒等の事故の原因となります。
- c. 屋内及び砂やホコリ、水等がない環境で使用してください。  
屋外で使用した場合、製品が故障する原因となります。
- d. 水や汗等が付着した場合、すぐに拭き取ってください。  
放置した場合、製品の破損や事故の原因となります。
- e. 泥が付着したタイヤで使用しないでください。  
製品が故障する原因となります。
- f. トレーニング中及びトレーニング直後のローラーパイプには触れないでください。  
ローラーパイプは非常に高温になります。手等で触れると、火傷をする原因となります。
- g. 製品使用中に、ブレーキをかけないでください。  
ブレーキをかけた場合、製品等の破損や事故の原因となります。
- h. 分解や改造をしないでください。  
破損や転倒等の事故につながる原因となります。
- i. 直射日光の当たる場所や、高温になるところに置かないでください。  
製品が変形する原因となります。
- j. 本取扱説明書に従ってご使用ください。  
従わない場合、製品の故障やけがの原因となります。
- k. 安全な環境で使用してください。  
安全な環境で使用しない場合、製品の故障やけがの原因となります。
- l. E-BIKE( 電動アシスト等) で使用しないでください。  
製品の破損や事故につながる原因となります。
- m. 本製品の制限体重は、100kg( 自転車含まず) です。  
制限体重を超えての使用は製品の破損や事故の原因となります。

## GT-Roller T1 について

「GT-Roller T1」は、「安全・静か・幅広いトレーニングが可能」と、従来の3本ローラーの欠点を解消しつつ、高剛性・低振動設計による「超上質な乗り心地の良さ」を実現した、3本ローラーです。

### 推奨する自転車

- ・ホイールサイズ：700C、27 インチ
- ・ホイールベース：950-1090mm

### 設置場所

- ・できるだけ水平な場所に設置してください。
- ・砂利、未舗装路など凸凹のある場所には設置できません。

### 乗車前（トレーニング前）の確認

- ・GT-Roller T1 や使用する自転車に損傷等がないことを確認してください。  
損傷等があった場合、ご使用中に破損し、転倒する可能性があります。
- ・ベルトがローラーパイプAとローラパイプBの溝にはまっているか、必ず確認してください。
- ・タイヤの空気圧がタイヤメーカーの指定空気圧であることを確認してください。  
空気圧が低い場合、タイヤサイドに亀裂が生じたり、パンクすることがあります。
- ・タイヤサイドのひび割れなどがないか確認をしてください。  
タイヤが劣化や痛んでいる場合、タイヤが裂ける恐れがあります。
- ・タイヤに砂などの付着、異物の食い込みがないか確認してください。  
砂などの付着、異物の食い込みがあるタイヤを使用すると、ローラーパイプが異常摩耗します。
- ・フロントローラーの位置が、使用する自転車のホイールベースに合わせて調整されていることをご確認ください。  
フロントローラーの位置が調整されていない場合は、本取扱説明書 P.8 に従って調整して下さい。

## 同梱品

同梱品がそろっているかお確かめください。

※不足がある場合は、お手数ですが、support@growtac.com までご連絡ください

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| 1. サイドフレーム        | 2本          |
| 2. 補強バー           | 1本          |
| 3. ローラーパイプA       | 1本          |
| 4. ローラーパイプB       | 1本          |
| 5. ローラーパイプC       | 1本          |
| 6. 手動負荷装置         | 1ケ          |
| 7. ボルトA (M6×10mm) | 4本          |
| 8. ボルトB (M6×22mm) | 14本         |
| 9. ベルト            | 2本 (予備1本含む) |
| 10. ステップシール       | 4枚          |
| 11. 手動負荷調整シート     | 1枚          |
| 12. 組み立て用ダンボールA   | 1ケ          |
| 13. 組み立て用ダンボールB   | 2ケ          |

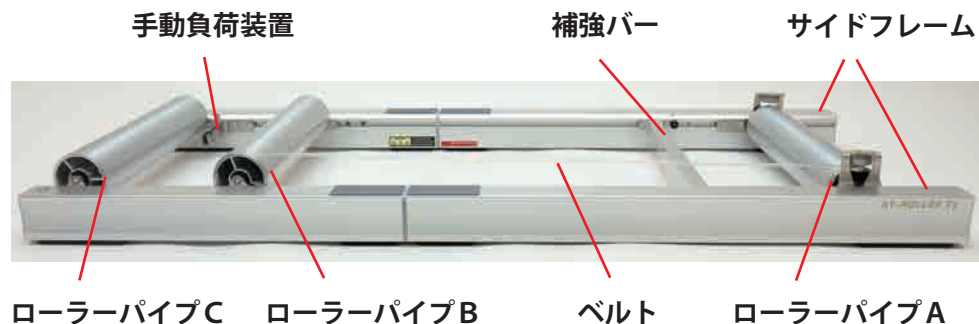
※組み立て用ダンボールは組立後にも使用する場合（ベルト交換時等）があるため、捨てないでください

- ・取扱説明書（本書）
- ・保証書



## 各部名称

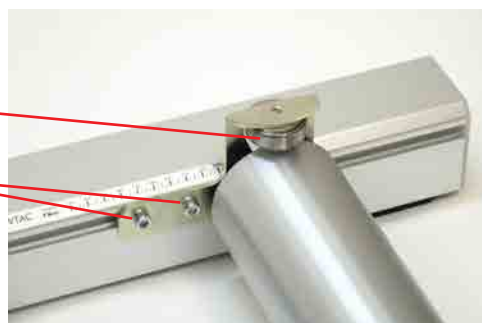
### 【全体図】



### 【ローラーパイプ A (フロント側)】

脱輪防止ローラー

ボルト A



#### 各 부품の取り扱いについて

本製品は金属部品を使用しているため、製品に付着した汗や水分を拭き取らずに放置すると、錆等の腐食が発生します。  
ご使用後は必ず乾いた布等で汗や水分をふき取ってください。  
特に脱輪防止ローラー周辺の金具部分については、よくふき取ってください。

## 組み立て方法

本製品をご使用いただくためには、組み立てを行う必要があります。

また、組み立てには、下図のようなボールポイント付き 5mm 六角レンチの使用を推奨します。



ボールポイント

※品質向上のため、製品を組み立てた後に実走によるテスト行っております。そのため、新品の製品でも組み立てた跡がある場合がございます



#### トルクスネジについて

下図の赤丸で示した、ローラーパイプに取り付けられているトルクスネジ (計 6 本) は外さないでください。



## 1. サイドフレームをならべる

サイドフレームを固定している青いテープを剥がします。

次に下図1のようにサイドフレームの溝が内側を向き、サイドフレームのヒンジ部（折れ目）から長い方をフロント側にして置いてください。

下図2を参考に、組立時にはヒンジ部分がねじれるような力が加わらないよう注意してください。

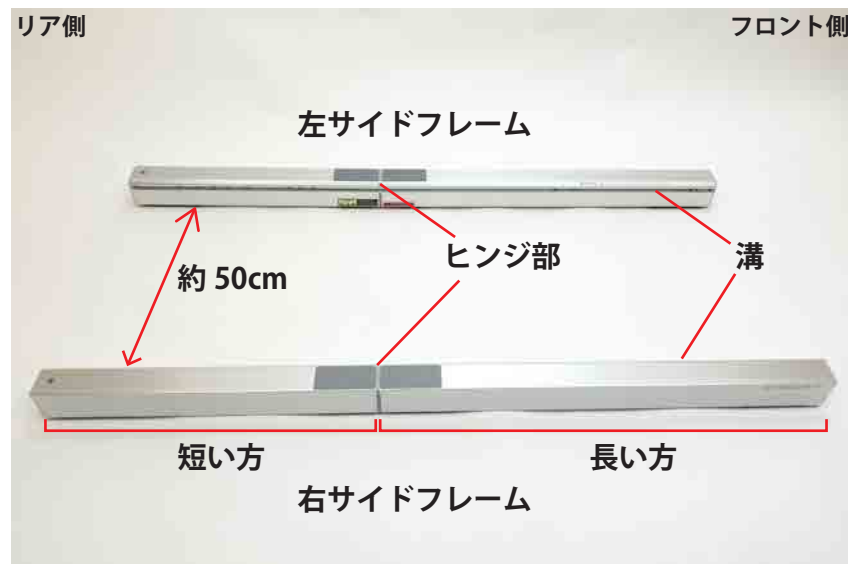


図1

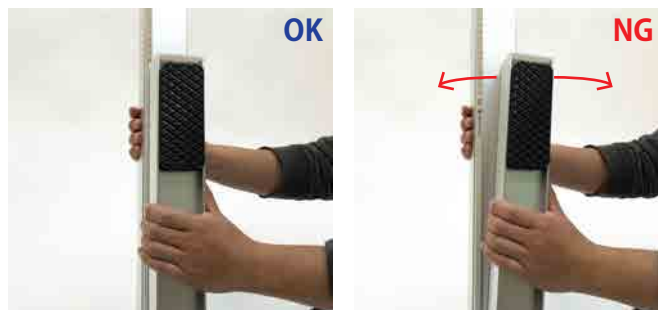


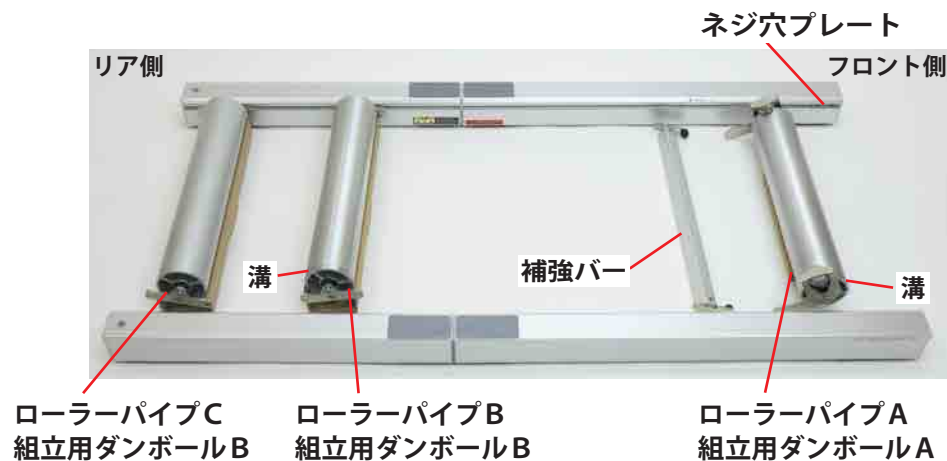
図2

## 2. 組立に必要なものをならべる

下図のように、ローラーパイプと組立用ダンボール、補強バーを向きに注意して配置します。

ローラーパイプAとローラーパイプBは、ふちに溝がある方を右サイドフレーム側に置いてください。

また、サイドフレームの溝内にあるネジ穴プレートは、左右ともにフロント側に寄せてください。



## 3. 補強バーを取り付ける

補強バーを左サイドフレームに5mm六角レンチを使用して、ボルトB(2本)で仮止めします。

右サイドフレームには、まだ組み付けないでください。



## 4. ローラーパイプ A を取り付ける

### 4-1

右図のように、ネジ穴プレートの右端面を左サイドフレームに記されている目盛りの 980mm の位置に合わせてください。右サイドフレームはまだ合わせる必要はありません。



ネジ穴プレート

### 4-2

図 1 のように、ローラーパイプ A を 950mm の目盛りの位置に合わせた後、ボルト A (2 本) を使用して、ネジ穴プレートに仮止めしてください。右サイドフレームには、まだ組み付けしないでください。

その際、図 2 を参考にローラーパイプ A に予め取り付けられているネジの頭をサイドフレームの溝に必ず入れてください。



図 1



図 2



ネジの頭がサイドフレームの溝に入っていない

## 5. ローラーパイプ B を取り付ける

下図を参考に、左サイドフレームの赤くマーキングされているネジ穴にローラーパイプ B を、ボルト B (2 本) を使用して取り付けます。右サイドフレームには、まだ組み付けしないでください。



赤くマーキングされているネジ穴



## 6. ローラーパイプ C を取り付ける

手順 6 と同様に、左サイドフレームの赤くマーキングされているネジ穴にローラーパイプ C をボルト B (2 本) を使用して、仮止めしてください。右サイドフレームには、まだ組み付けしないでください。



## 7. ベルトを取り付ける

ベルトはローラーパイプAとローラーパイプBの溝にはかけず、下図のようにローラーパイプと取り付け金具の間にベルトをかけてください。その際、必ず補強バーをベルトの中に通してください。



取り付け金具      ベルト

## 8. 右サイドフレームに組み付ける

左サイドフレームに補強バーとローラーパイプA,B,Cを組み付けた時と同じ手順で、右サイドフレームにも補強バーとローラーパイプA,B,Cを組み付けて、ボルトを仮止めしてください。

## 9. ボルトBを本締めする

全てのボルトBを以下の指定トルク値で締めてください。  
指定トルク値：7 N・m

## 10. 手動負荷装置を取り付ける

### 10-1

図1を参考に、左サイドフレームのネジ穴にボルトB(2本)を使用して、手動負荷装置を取り付けてください。

その際、ボルトは完全には締めず、図2のように手動負荷装置が矢印の方向に動く程度で固定してください。

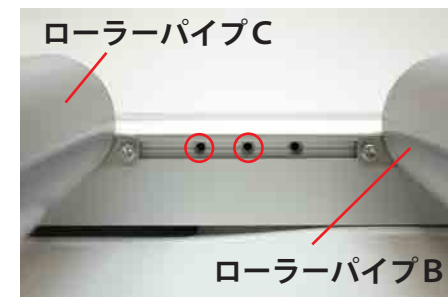


図1

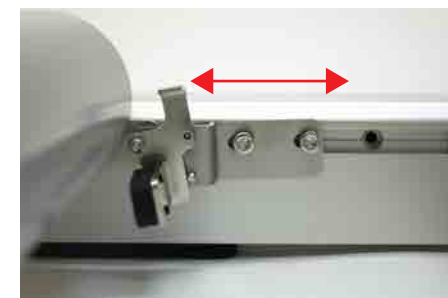
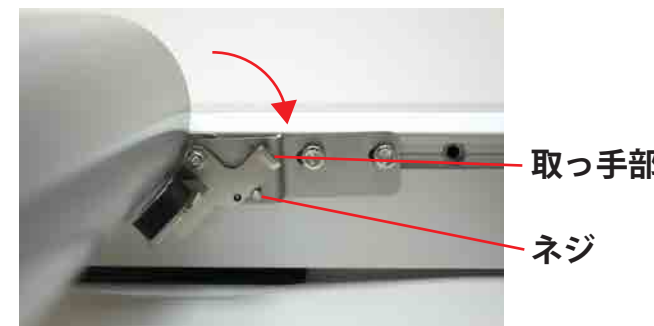


図2

### 10-2

下図を参考に、手動負荷装置の取っ手部を矢印の方向にネジに当たるまで動かしてください。



## 各種調整方法

### フロントローラーの位置調整

#### 1. ベルトのテンションを確認する

下図のようにローラーパイプA,Bともにかかっているベルトが溝の外側に出ており、ベルトにテンションが掛かっていない（伸びきっていない）ことを確認してください。



ベルト

#### 2. ボルトAを緩める

下図内の赤丸で示した、ボルトA（計4本）を緩めて、ローラーパイプAが矢印の方向に動くことを確認してください。



### 10-3

ローラーパイプと手動負荷装置の磁石の距離間を適切にするため、  
図1のように、手動負荷装置の磁石とローラーパイプの間に手動負荷調整シートを挟みながら、取り付けしたボルトB（2本）を締めてください。

指定トルク：7 N・m

図2,図3を参考に、手動負荷調整シートを挟みこむ際には、手動負荷装置全体を覆わないよう注意してください。手動負荷装置全体を覆った場合、ローラーパイプと手動負荷装置の磁石の距離間が適切になりません。

手動負荷調整シート



図1



図2

負荷調整シートが手動負荷装置の磁石だけに接触している



図3

負荷調整シートが手動負荷装置全体を覆ってしまっている



### 3. フロントローラーの位置を調整する

使用する自転車を GT-Roller T1 に載せ、ハンドルを真っすぐにします。次にフロントハブの中心下から15mm 延ばした位置に、ローラーパイプAの目盛りを合わせてください。自転車のホイールベース値に対して、+15mm の位置を基準値とし、基準値から好みに応じ調整してください。

#### Tips!

基準値よりもフロントローラーの位置を近くすると、自転車が前方に飛び出しやすくなりますが、実走時に近いハンドリングになります。

基準値よりもフロントローラーの位置を遠くすると、自転車が前方に飛び出しにくくなりますが、実走時とは異なるハンドリングになります。

GT-Roller T1 の負荷を重くした状態で使用した場合、自転車が前方に飛び出しやすくなりますので、負荷を重くした場合にはフロントローラーの位置を遠くすることを推奨します。



ローラーパイプAの中心がフロントハブの中心よりも15mm前方にある



目盛り

※図内の自転車のホイールベースは、965mmです。そのため、ローラーパイプAの目盛りは980mmに合わせています。

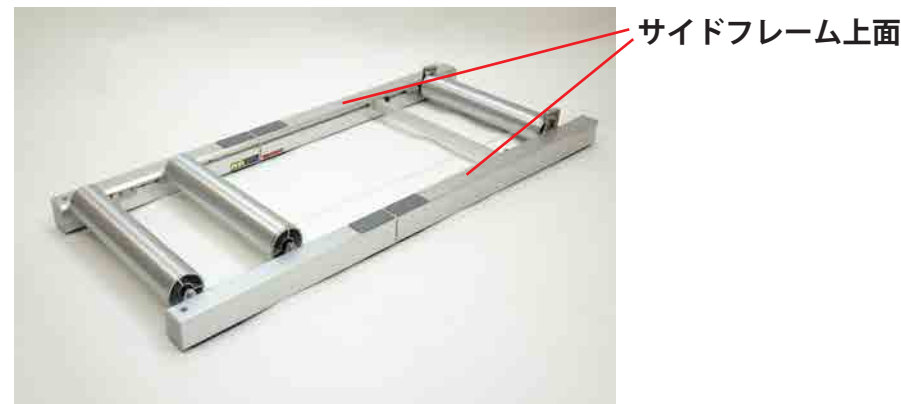
### 4. ボルトAを締める

サイドフレームに記されている目盛りを参考に、ローラーパイプAが左右同じ位置に来ているか確認した後、ボルトAを締めてください。

指定トルク：7 N・m

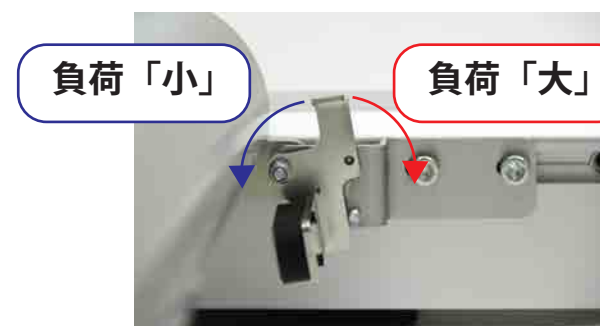
### ステップシールについて

乗降時に足をつきやすい箇所（サイドフレーム上面）に、滑り止め・傷つき防止のため、付属のステップシールを貼ってください。



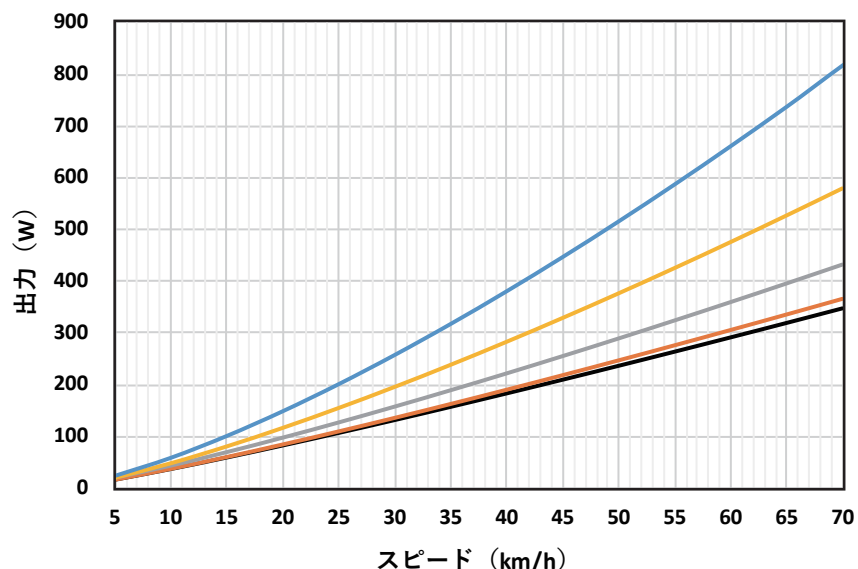
### 負荷の調整

手動負荷装置を動かすことで、5段階の負荷調整を行うことができます。



## 負荷特性（参考）

使用者の体重や使用環境（タイヤの銘柄等）で数値は変化します。



— 1 — 2 — 3 — 4 — 5 (手動負荷の段階)

## メンテナンス・保管について

### 製品使用后

本製品は金属部品を使用しているため、製品に付着した汗や水分を拭き取らずに放置すると、錆等の腐食が発生します。

ご使用後は必ず乾いた布等で汗や水分をふき取ってください。

特に脱輪防止ローラー周辺の金具部分については、よくふき取ってください。

### ベルトの交換

ベルトが伸びきってしまった、もしくは切れてしまった場合には、【組み立て方法】の手順3を参考に、組立用ダンボールを各ローラーパイプの下に配置してから補強バーとローラーパイプA,B,Cを右サイドフレームから外し、予備ベルトと交換してください。

### 保管方法

使用後は、下図のように折りたたんでください。  
本製品を折りたたんだ状態で保管すると、ベルトへの負担が軽減され、**ベルトの寿命を延ばす**ことができます。  
保管時は、縦置き、横置きどちらでも構いません。  
また、持ち運ぶ際は、ヒンジ部分にねじれるような力が加わらないよう、折りたたんだサイドフレームの横面が平行になっている状態で持ち運んでください。  
本製品を広げる際には、予め溝にベルトをはめた状態で広げることを推奨します。



折りたたむ際は、サイドフレームに指を挟まないよう注意してください。

折りたたんだサイドフレームの横面が平行になっている

## 製品仕様

### 製品サイズ

使用時：W570mm × D1320mm × H100mm

折り畳み時：W570mm × D790mm × H160mm

製品重量：約 13kg

制限体重：100kg（自転車含まず）